

この取扱説明書(裏表紙)には保証書がついています。  
必ず販売店より記入(捺印)をお受け下さい。

## 長年保管されていた(古い)レコード の取扱いについてのご注意

大切にされている貴重なレコードは、取扱いに  
十分注意して下さい。  
経年化によってレコードに歪み・反りがあると  
音質・ノイズやレコードの回転ブレに影響を及  
ぼす場合があります、不慮にレコードをキズつけ  
てしまう可能性があります。  
※本製品以外、レコードの補償はできかねます  
ので予めご了承下さい。


# アンティーク調 マルチプレーヤー

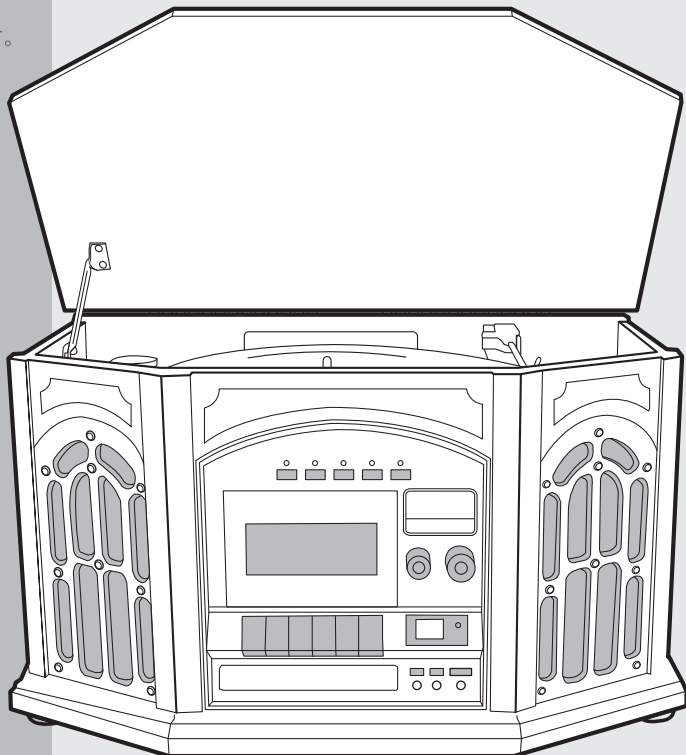
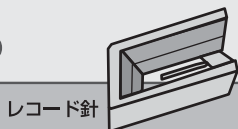
品番 **ATQ-470**

- この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
  - この取扱説明書をよく読み、ご理解した上でご使用下さい。
  - 取扱説明書及び、保証書は大切に保管して下さい。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読み下さい。

## レコード針のご購入を希望される方へ

レコード針は消耗品です。  
音飛びや音割れ、レコードの損傷の原因になりますので  
約100時間以上ご使用されたら、新しいレコード針への  
交換をお勧めします。お買い求めは当社アフターサー  
ビス部までご連絡下さい。

(  18ページを参照)



この製品は日本国内でのみご使用になれます。  
This appliance is designed for domestic use in Japan only  
and can not be used in any other country.

●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

# 目次

---

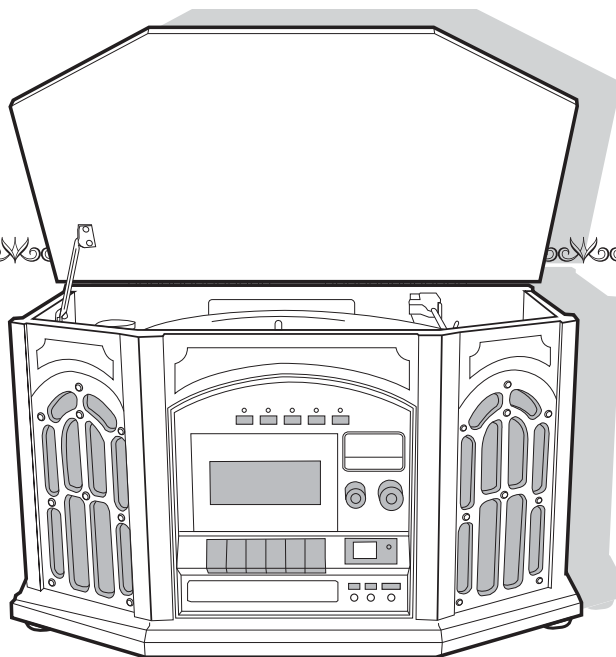
安全上の注意	2~5ページ
各部のなまえとはたらき	6ページ
ご使用前の準備	7ページ
使い方	8ページ
CDを聴く	8ページ
レコードを聴く	9~10ページ
ラジオを聴く	11ページ
テープを聴く	12ページ
CDを録音する	13ページ
ラジオを録音する	13ページ
レコードを録音する	14ページ
お手入れ	15ページ
故障かな?と思ったら	16ページ
製品仕様	17ページ
レコード針について	18ページ

---

保証書……裏表紙

 **Apice**  
ANTIQUE PLAYER

**ATQ-470**








# 安全上のご注意

- ※ ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。







## 絵表示について

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

-  △記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指を挟まれないよう注意)が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

- ・この「安全上のご注意」はオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
- ・各説明項目の中には取扱説明書と重複している内容もあります。

 <b>警告</b>	
	万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼下さい。
	万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意下さい。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺では使用しないで下さい。
	風呂場などの水場では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
	この機器の開口部(通風孔、ビデオテープの挿入口など)から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意下さい。







# 安全上のご注意

	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	この機器を分解・改造をしないで下さい。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないで下さい。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や低部などに通風孔があげてあります。次のような使い方はしないで下さい。 ・あおむけや横倒し、逆さまにする。 ・押し入れ、本箱等風通しの悪い狭い所に押し込む。 ・テープ・クロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
	この機器を設置する場合は、壁から10 cm以上の間隔を置いて下さい。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いて下さい。ラックなどに入れる時は、機器の天面から10 cm以上、背面から10 cm以上のすき間をあけて下さい。内部に熱がこもり火災の原因となります。
	この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または、小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対に外さないで下さい。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼下さい。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いもの（家具、置きもの、敷物など）をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。）
	電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工しないで下さい。火災・感電の原因となります。
	ACアウトレット（電源コンセント）付機器のみ この機器のACアウトレットが供給できる電力は制限されています。接続する消費電力の合計がACアウトレットに表示されている電力を超えないようにして下さい。火災の原因となります。ヒーター、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。
	この機器を使用できるのは、日本国内のみです。表示された電源電圧以外では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
	フローリングやニスの塗った床・じゅうたん・テーブル・家具の上などで使用する場合、底部のゴム足に厚紙、もしくはシートを貼って下さい。長期間使用すると、跡が残る場合があります。

# 安全上のご注意

 <b>注意</b>	
	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けしないで下さい。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
	この機器をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
	2～3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談下さい。この機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をせず使用し続けると火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談下さい。
	移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線を外してから行なって下さい。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないで下さい。コードに傷がつき火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いて下さい。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	イヤホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意下さい。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
	この機器の上に重い物や外枠からはみ出るような大きな物を置かないで下さい。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
	電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出てスピーカーを破損したり聴力障害などの原因となることがあります。
	キャビネットにベンジン、シンナー、殺虫剤など、揮発性のものをかけたりしないで下さい。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触されたままにしないで下さい。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

# 安全上のご注意

	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	テレビなどの機器を接続する場合は、まず電源を切り、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続して下さい。また、接続は指定のコードを使用して下さい。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
	お子様が(カセットテープ、ディスク)挿入口に、手を入れないようにご注意下さい。けがの原因になることがあります。
	レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こす原因となることがあります。
	強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
	直射日光があたる場所や熱器具の近くに置くと、キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意下さい。

## CDの取扱い

### CDの取扱について

- ・ CDは、下面の印刷や文字の書かれていない面に触れないように取り扱って下さい。
- ・ 紙やシールを貼ったり、傷をつけたりしないようにして下さい。再生できない場合があります。

### CDのお手入れのしかた

- ・ 指紋や手あか汚れ、ホコリの付着などは音質低下の原因になりますので、いつもきれいにお手入れを行って下さい。
- ・ CD面をやわらかい布や専用のCDクリーナーでCDの中心から外の方へ軽く拭きます。  
※専用のCDクリーナーを使用する際は、注意書に従って下さい。
- ・ 水気がついている場合は、よく拭き取ってから使用して下さい。
- ・ ベンジンやシンナー、静電気防止剤、食器用洗剤などはCDを傷めることがありますので使用しないで下さい。

## CDに関するご注意

- ・ 本製品は円形状の<シングル/アルバムサイズ>ディスクを再生することができます。

※4インチのシングルCDで一部再生できないものがあります。

### CD-R/CD-RWについて

- ・ 本製品はCD-DAフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただしディスクの種類や、使用したレコーダーの状態、フォーマットの種類によって再生できない場合があります。CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格。
- ・ CD-R/CD-RWは、ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）されていないディスクは本製品では再生できません。
- ・ CD-R/CD-RWは、レコーダーの書き込み処理や状態によって雑音や音飛び、認識されない場合があります。
- ・ VCDは再生できません。
- ・ 著作権法を違反するものは使用しないで下さい。詳しくは「日本音楽著作権協会」にお尋ね下さい。



# 各部のなまえとはたらき

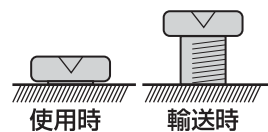
## 本体

### ドーナツ盤用アダプター

ドーナツ盤を演奏したいときときに使用します。  
回しながらはずしてください。

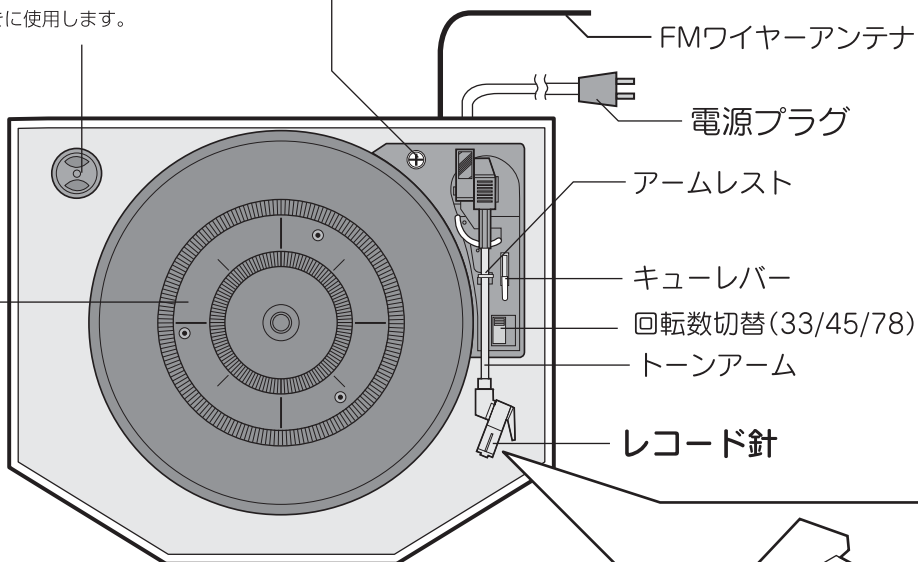
### 輸送時固定ネジ

はじめて使用する際は、このネジをコイン等で「時計回し」に回してネジが埋まるようにしてから使用します。  
輸送時は、このネジを「反時計回し」にネジを上まであげてから本体を運んでください。



## 《上面図》

ターンテーブル



## 《正面図》

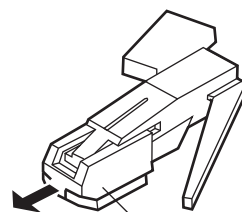
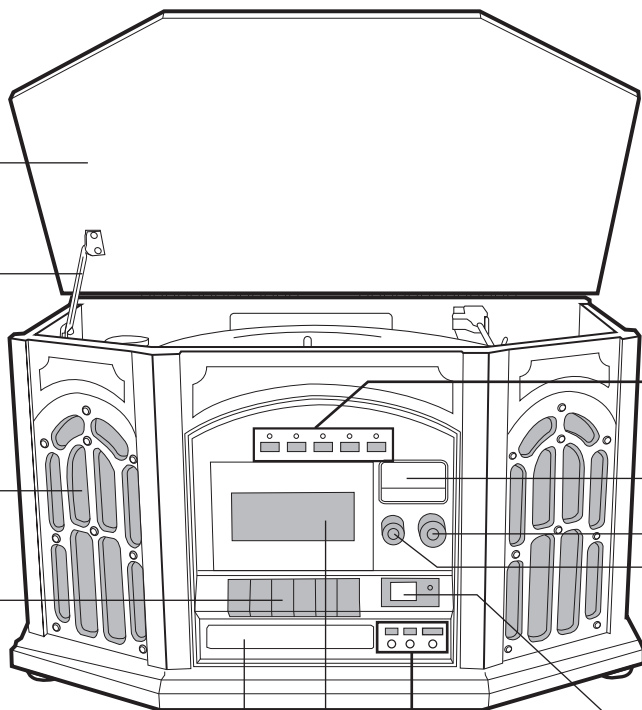
キャビネット  
ふた

スタンド

ふたを閉じる場合は片手で  
ふたをおさえ、スタンドを  
手前に引きます。

スピーカー

カセットテープ  
各プレイボタン



針保護カバー  
(白色)

ご使用の際は、白色の針保護カバーを  
手前に引いて抜きとってください。

ファンクション切替  
(PHONO/CD/TAPE/FM/AM)  
※PHONOとはレコードを示します。

チューニング窓

チューニング調節つまみ

電源兼音量つまみ

CDローディング

CD各プレイボタン

カセットテープ部

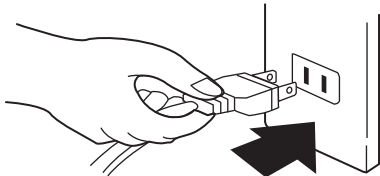
CD曲数表示

# ご使用前の準備

## 電源を準備する

- ・必ずAC100Vの家庭用コンセントに確実に差し込んでください。
- ・旅行などで長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いて下さい。
- ・屋外や湿度の高い場所では使用しないで下さい。  
電源プラグや端子部分が錆びたり、感電する場合があります危険です。

### 電源コード



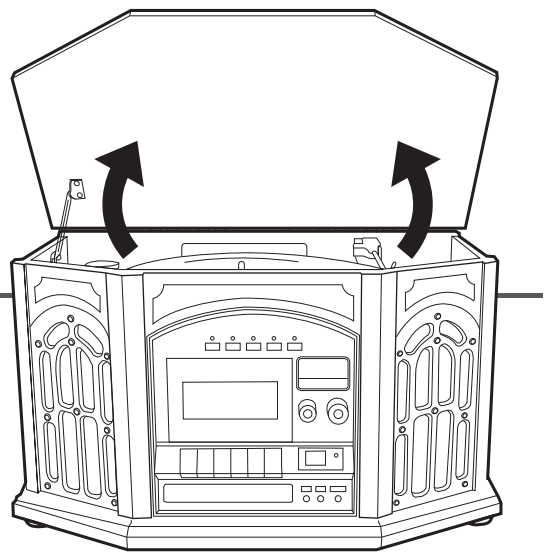
AC100V電源のコンセントにしっかりと奥まで差し込む。

### FMアンテナ

- FMアンテナリード線は、受信状態の良い方向に固定します。  
(セロテープやフック等)

## 本機の準備する

まず、平らで安定を確認した場所に本機を置きます。  
本体のフタを上にかチッとロックがかかる所まで開いて下さい。



## 基本操作の手順

### (1) 電源を入れる

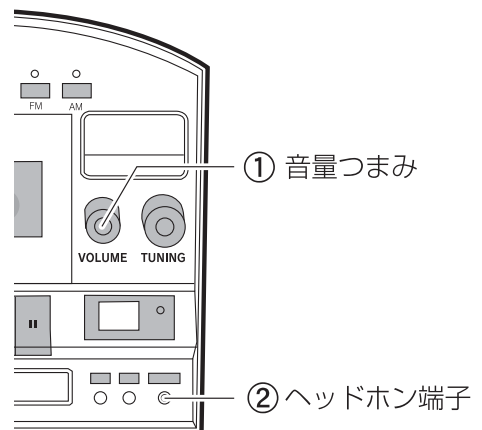
①のボタンを時計方向に回すと、カチッという音がして電源が入ります。

### (2) 音量を調節する

①の音量つまみを時計方向に回しながら、音量を調節して下さい。適度な音量でお楽しみ下さい。  
小さな音量から徐々に上げていくように調節しましょう。

### (3) 電源を切る

①の音量つまみを反時計方向に回しきると、カチッという音がして、電源が切れます。



## ヘッドホンで楽しむ

- ②ヘッドホン端子にステレオミニプラグ(直径3.5mm)付きのヘッドホンを接続します。  
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音がしなくなります。
- ◎ヘッドホンをご使用になる時は耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみ下さい。  
また、小さな音量から徐々に上げていくように調節しましょう。



# 使い方

## CDを聴く

### CDに合わせる

- ①で[CD]のボタンを押します。
- ②の音量つまみを回し電源を入れます。  
CDのファンクションランプが点灯します。

### CDを入れる

- ③を押すとCDローディングトレイが出てきますので、お好みのCDを入れ、再び③を押します。  
曲数表示にCDの総曲数が表示されます。

### 再生(演奏)する

- ④の再生/一時停止ボタンを押してCDを再生させます。曲数表示横のプレイランプが点灯します。

### 曲戻し/曲送り

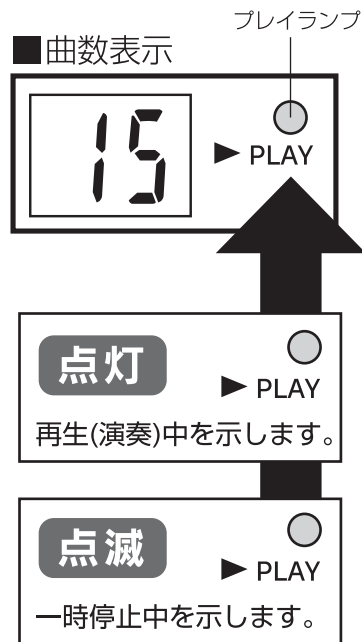
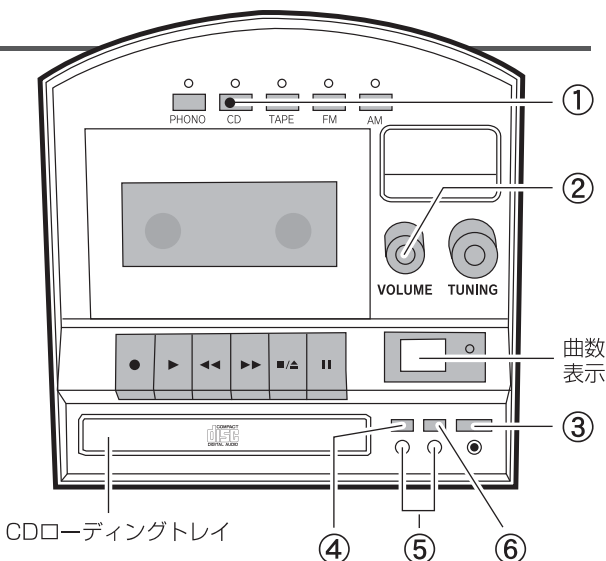
- ⑤のボタンを押して曲戻し(F.R. 前の曲に戻る)、曲送り(F.F. 次の曲に送る)を行います。  
※長押しすると、演奏の早戻し早送りできます。

### 一時停止する

- CD再生中に④の再生/一時停止ボタンを押して一時停止させます。もう一度押しと解除します。

### 停止する

- ⑥の停止ボタンを押してCDを停止させます。  
曲数表示横のプレイランプが消灯します。



### 注意

レンズ部に触らないでください。レンズが汚れると正常に演奏できなくなる場合があります。  
演奏中に近くにあるテレビやラジオに雑音や影響が出る場合は本機をテレビやラジオから離してください。

### ●CDについてのご注意

(5ページ参照)

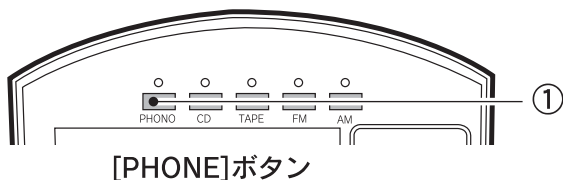
# 使い方

## レコードを聴く

●6ページを参照して準備してください

### PHONOボタンを押す

①で[PHONO]のボタンを押します。  
音量つまみを回して電源を入れます。  
PHONOファンクションランプが点灯します。



### 針保護カバーをはずす

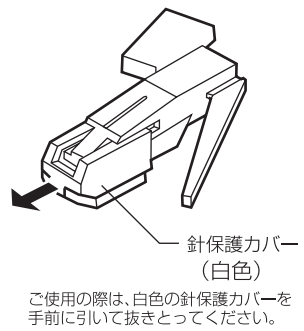
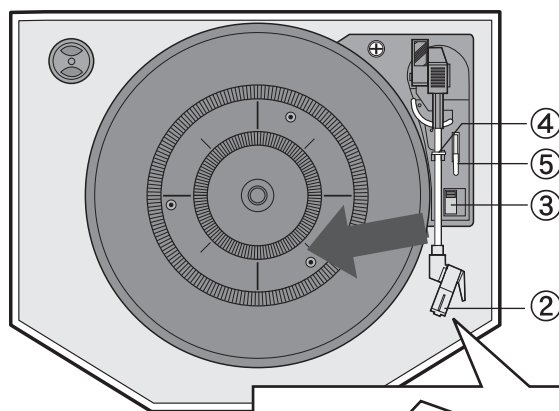
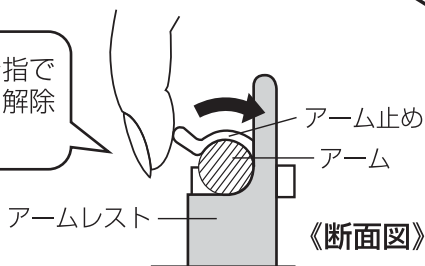
②の白い保護カバーを矢印の方に引き抜く。

### 回転数をセットする

③切替でレコード回転数を33/45/78の  
どれかに合わせます。

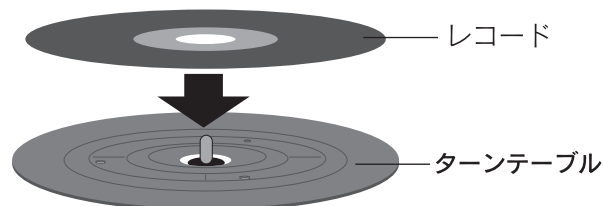
### アームとめ具をはずす

④のアームとめ具を指で  
矢印の方向に押し解除  
します。



### レコードをセットする

ターンテーブルの上に聴きたい面を上にして  
レコードを乗せて下さい。



### 再生(演奏)する

1. トーンアームを⑤キューレバーで持ち上げ、矢印の方向にゆっくり移動させてください。  
ターンテーブルが動き出します。
2. 演奏を開始したい所にトーンアームを持っていきキューレバーをゆっくり下げると、トーンアームが降りて演奏を開始します。
3. 演奏が終わり、トーンアームが内側になると自動的にトーンアームがアームレストに戻り、回転が止まります。

途中で演奏を止めるには、  
トーンアームをキューレバーで持ち上げてから  
トーンアームをアームレストに戻します。  
ターンテーブルの回転が止まります。

●レコードに関するご注意  
(10ページ参照)

※一部のレコードによって、演奏終了後にトーンアームが戻らない場合があります。ご了承下さい。

# 使い方

## レコードを聴く <つづき>

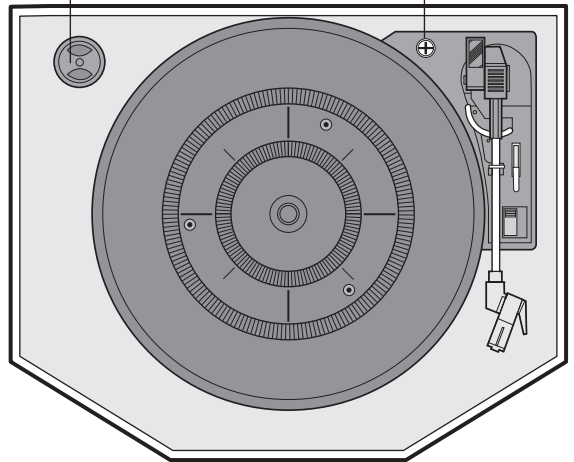
### ●ドーナツ盤を聴く場合

「ドーナツ盤用アダプター」を回しながらはずして、レコードの中心にはめ込んで使用します。

#### ドーナツ盤とは……

通常よりレコード中心の穴が大きなもの。アダプターが回転の補助をします。

ドーナツ盤用アダプター 輸送時固定ネジ



## ご注意

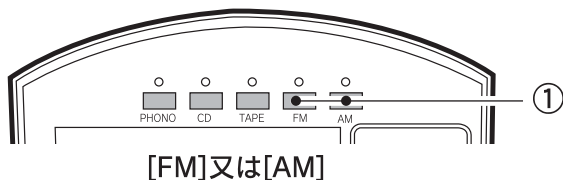
- はじめてお使いの際は、輸送時固定ネジを解除してからお使いください。そのままご使用になるとレコードの損傷や本機の故障の原因になることがあります。
- トーンアームの戻し方が不完全の時、アームレストに戻る場合がありますが故障ではありません。もう一度最初から操作して下さい。
- 本機はオートリターン機構付ですが、規格外レコードをご使用の場合オートリターンしないものや演奏終了直前でオートリターンしてしまうものがあります。《規格外レコードとは、日本工業規格(JIS規格)で定められた、ディスクレコードに関する規格ではないレコードを示します。》お使いのレコードをお確かめください。
- レコード演奏時に「ワーン」という音が出た場合(ハウリング現象)音量を調節してみてください。
- レコード演奏中は、震動・衝撃を与えない様にご注意下さい。
- レコードを交換する時は、ターンテーブルが完全に止まってから行って下さい。

# 使い方

## ラジオを聴く

### 電源を入れる

③音量つまみを回し電源を入れます。



### 放送(バンド)を選ぶ

①[FM]または[AM]ボタンを押します。  
FMまたはAMファンクションランプが点灯します。

### 選局する

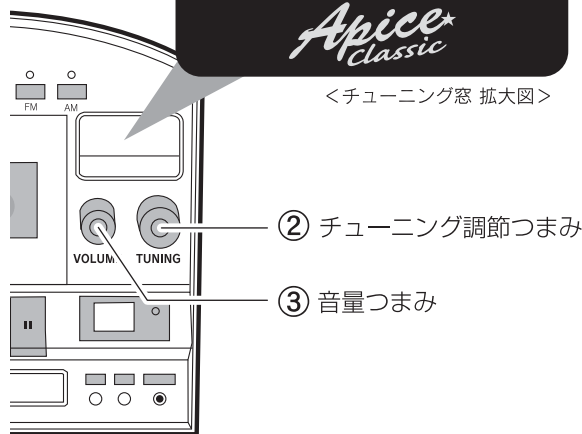
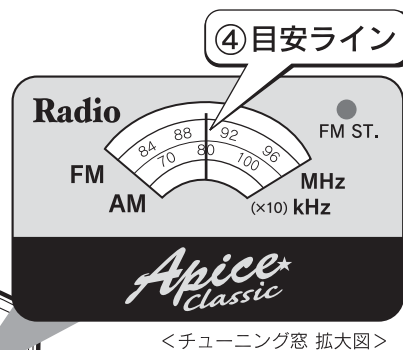
②のチューニング調節つまみを回して、  
④の目安ラインを見ながら、好きな周波数の  
受信状態の良い所を探します。

#### FM放送

チューニング窓の上の段がFM放送周波数  
になります。ステレオ受信をすると、  
「FM ST.」ランプが点灯します。

#### AM放送

チューニング窓の下の段がAM放送周波数  
になります。表示の数字(×10)で、  
周波数を合わせて下さい。



## 受信状態をよくする

#### FM放送の場合

リード線アンテナを伸ばして、向きや高さを受信感度の良い方向へ向ける。

#### AM放送の場合

本体内蔵型アンテナにつき、本体の向きや位置を受信感度の良い方向に移動させる。

- テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。  
また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れるときがあります。  
この様なときは、本機を離してご使用下さい。
- 乗り物や鉄筋コンクリートの建物の中などでは、電波が弱まるため放送が聞こえにくくなる場合があります。  
できるだけ窓側でお使いください。

**注意** 2011年7月以降、デジタル放送に切り替わる為、FM放送でテレビ音声を受信できなくなります。

# 使い方

## テープを聴く

### 電源を入れる

③音量つまみを回し電源を入れます。

### TAPEを選ぶ

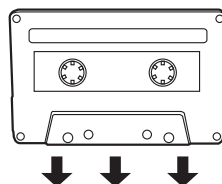
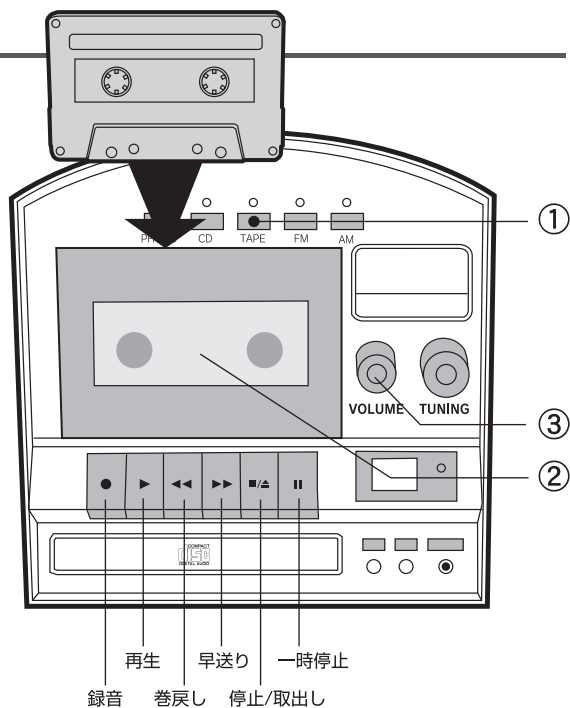
①[TAPE]ボタンを押します。  
TAPEファンクションランプが点灯します。

### テープを入れる

停止/取出しボタンを押しドアが開いた後、  
②にカセットテープを正しい方向に入れます。  
カチッと音がするまで手で押し閉めます。

### テープを再生(演奏)する

【再生】ボタンを押します。演奏が始まります。



TAPE1(ノーマル)テープをお使いください。

### ●その他の動作

演奏中に一時停止する	一時停止ボタンを押す。もう一度押すと演奏がはじまる
早送り	▶▶ 早送りボタンを押し続けて、止めたいところでやめる
巻戻し	◀◀ 巻戻しボタンを押し続けて、止めたいところでやめる
演奏を止める	■/▲ 停止ボタンを押す(テープ再生時)
テープを取り出す	■/▲ 停止ボタンを押す(演奏停止時)

### テープの種類

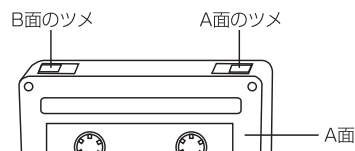
本機はノーマルテープのみ対応しています。  
ハイポジション(TYPE2)やメタル(TYPE4)テープを使用して再生・録音すると、音が歪む場合があります。

### 長時間テープをお使いの時は

90分を超えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープですので、細かな再生、停止、早送り巻戻しなどを繰り返しますと、テープが機械部に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

### 大切な録音を守る一誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消去してしまうミスが防げます。  
ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。




# 使い方

## テープに録音する

### CDを録音する

1. ①を[CD]に合わせ、CDをセットします。

●CDを聴く (8ページ参照) 

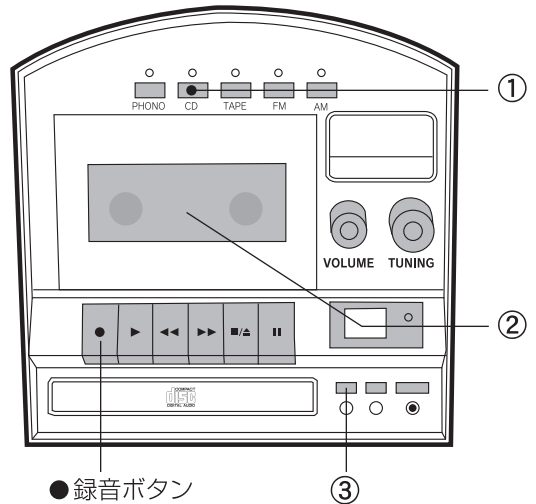
- 録音する面を手前に向けてテープを入れます。  
ツメの折れていないノーマルテープを使用して下さい。
- ②テープぶたを閉めます。
- 録音ボタンを押します。同時に再生ボタンも押され、録音が始まります。
- ③を押してCDを演奏させます。

#### 【指定した曲を録音するには】

あらかじめFR(曲戻し)、FF(曲送り)ボタンを押して、CDのお好きな曲を選びます。  
CD部の再生/一時停止ボタンを2回押して、一時停止しておきます。(プレイランプ点滅)  
テープ録音ボタン押してから、再生/一時停止ボタンを押してCDを演奏させます。(プレイランプ点灯)

#### 録音をやめる

CDを停止してから、テープの停止/取出しボタンを押して録音を停止してください。




●録音ボタン

③

ノーマルテープをお使いください。  
カセットテープ扉側に向けた面に録音します。  
反対側に録音する際は、テープを裏返して下さい。

### ラジオを録音する

1. ①を[FM]または、[AM]に合わせます。

●ラジオを聴く (11ページ参照) 

③で好みの局を選びます。

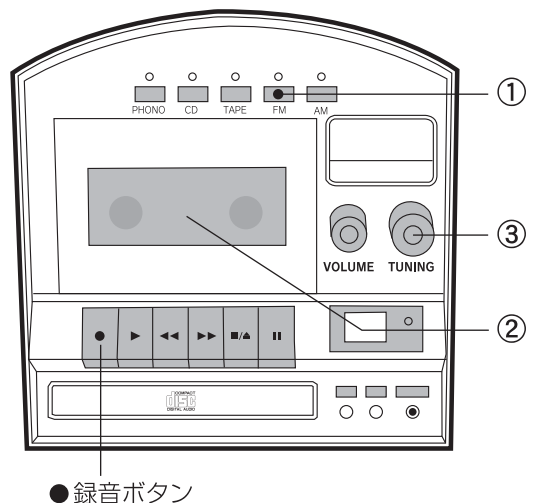
- 録音する面を手前に向けてテープを入れます。  
ツメの折れていないノーマルテープを使用して下さい。
- ②テープぶたを閉めます。
- 録音ボタンを押します。同時に再生ボタンも押され、録音が始まります。

#### 録音をやめる

お好きなところで、テープの停止/取出しボタンを押して録音を停止してください。

#### ちょっと一言

ラジオの受信状態が悪い場合、そのまま録音されますので、受信が良い場所に合わせてから録音しましょう。



●録音ボタン

# 使い方

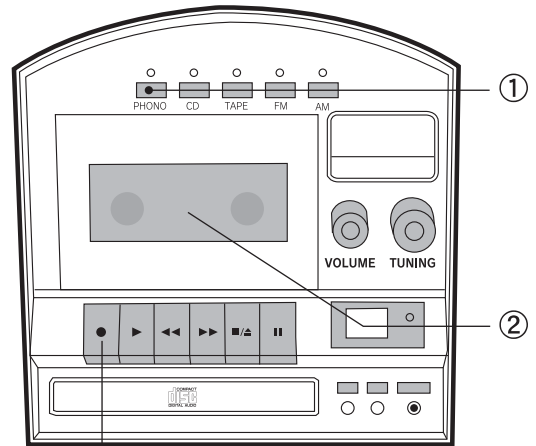
## テープに録音する

### レコードを録音する

1. ①を[PHONE]に合わせ、レコードをセットします。

●レコードを聴く(9/10ページ参照)

- 録音する面を手前に向けてテープを入れます。  
ツメの折れていないノーマルテープを使用して下さい。
- ②テープぶたを閉めます。
- 録音ボタンを押します。同時に再生ボタンも押され、録音が始まります。
- レコードを演奏させます。



●録音ボタン

### 録音をやめる

テープの停止/取出しボタンを押して録音を停止してください。

### テープの終わりまで録音すると

テープが止まり、録音が停止します。  
反対側の面を続けて録音する時は、テープを裏返して(逆の面に)扉を閉め、再び録音ボタンを押して下さい。

- 【注意】**
- 録音する面のテープの誤消去防止用ツメが折れていると、録音ボタンは押せません。
  - テープのたるみは必ず、巻き取って正常に戻してからご使用下さい。  
(テープやヘッドにキズが付いたり、切れたりする原因になります)
  - 音量を調節したり、音質を変えても録音には影響ありません。
  - 録音しながら他の音源を聴くことはできません。

### 録音に関するご注意

- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ・レコーダーの不具合により録音されなかった場合の、録音内容の補償については一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断では使用できません。

# お手入れ

## 末永くお使いいただくために

### 【CDのお手入れ】

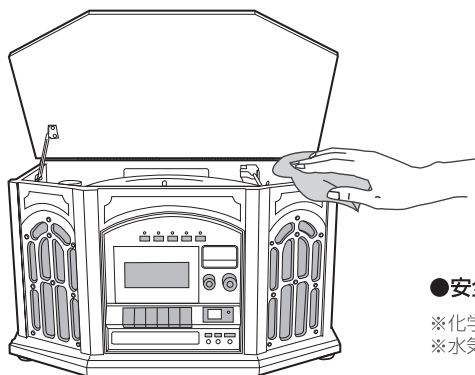
- ・指紋や手あか汚れ、ホコリの付着などは音質低下の原因になりますので、いつもきれいに  
お手入れを行って下さい。
- ・CD面をやわらかい布や専用のCDクリーナーでCDの中心から外の方へ軽く拭きます。  
※専用のCDクリーナーを使用する際は、注意書に従って下さい。
- ・ベンジンやシンナー、静電気防止剤、食器用洗剤などはCDを傷めることがありますので、  
使用しないで下さい。
- ・水気がついている場合は、よく拭き取ってから使用して下さい。

### 【レコードのお手入れ】

- ・ホコリやチリの付着などは音質低下や再生の不安定の原因になりますので、いつもきれいに  
お手入れを行って下さい。
- ・直射日光にあたらぬ様にケースに入れて日陰で保管しましょう。
- ・その他レコードの注意書に従って下さい。

### 【本体のお手入れ】

柔らかい布やガーゼ等からぶきしてください。  
中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを、布につけ  
よく絞ってから、拭くと汚れがよく落ちます。



直接、水や洗剤をかけて洗わないでください  
感電や故障の原因になります。

●安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてお手入れをして下さい。

※化学ぞうきんなどご使用される方は、その注意書をよくお読みの上、使用して下さい。  
※水気がついている場合は、よく拭き取ってからご使用下さい。

## 置き場所について

本機やカセットテープ、CD等を次の場所に置かないで下さい。

- ・磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- ・テレビの近く

## 取扱いについて

- ・CDトレーをあげたまま放置しないで下さい。内部にゴミやホコリが入り、故障の原因になることがあります。
- ・本機のスピーカーは強い磁気を発していますので、次のようなものは本機のそばに置かないで下さい。
  - ー時計
  - ークレジットカードなどの磁気カード
  - ーカセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- ・カセットデッキを長期間ご使用されなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。  
良い状態でお使いいただけます。



# 故障かな？と思ったら

## 故障かな？と思ったら

使用方法を間違えたり誤ると、次のような症状が起り、故障と思われることがあります。  
お買い上げの販売店または、当社にご相談になる前に、下記の表でチェックしてください。

### 基本的なトラブル

症状	原因	処置・確認
音が出ない	電源／切換えスイッチが正しく選ばれていない	電源／切換えスイッチを正しい位置にする
	ヘッドホンを使用している	ヘッドホンジャックから抜いてください
雑音が入る	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している	携帯電話などを本機から離してください

### レコードでのトラブル

症状	原因	処置・確認
演奏できない	針先にホコリが溜まっている	清掃してホコリを取り除いて下さい
	保護カバーをはずしていない	保護カバーを取り外してください
雑音、音質が悪い	回転数が合っていない	回転数を換えてみてください
	レコード針が摩耗している	新しい針と交換して下さい

### ラジオでのトラブル

症状	原因	処置・確認
ラジオ受信時にサッーという音が出る	アンテナの向きが合っていない 電波が悪い。	アンテナの向きを調節する
	外部から雑音を拾う	テレビや蛍光灯などの他の電機製品から離す
雑音が入る	電波が弱い ラジオの選局がずれている	アンテナの方向を変えてみる ラジオ選局つまみを回して調節する
	テレビの近くで使用している	テレビから離して使用して下さい

### テープでのトラブル

症状	原因	処置・確認
録音できない	ツメが折れている	セロハンテープで穴をふさぐ
	終わりまで再生されている	テープを裏返してください
雑音、音質が悪い	ヘッドが汚れている	お手入れ、ヘッドクリーニングをおこなう
	ノーマルテープ以外を使用している	ノーマルテープを使用して下さい

### CDでのトラブル

症状	原因	処置・確認
演奏がはじまらない	ディスクが汚れている	ディスクを清掃する
	つゆつきがおきている	電源を入れた状態で一時間程待ってから演奏を開始する
	ファイナライズ処理をしていない CD-R/CD-RWを使用している	ファイナライズ処理されたCD-R/RWを使用する また、CD-R/RWでは、ディスクや記録装置により再生できないものがあります。

# 製品仕様

## 製品仕様

外形寸法	約(幅)545×(高さ)310×(奥行)340<mm>	スピーカー	フルレンジ10cm×2
本体重量	約10.4kg	インピーダンス	8Ω
消費電力	18W	出力	2.2W+2.2W
接続端子	ヘッドホン端子(φ3.5mm)	電源	AC100V 50/60Hz

### CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクプレーヤー
信号読み取り方	非接触光学方式(3ビームレーザー)
チャンネル数	2チャンネル
周波数	20Hz~20KHz
ワウ・フラッター	測定限界以下

### レコードプレーヤー部

型式	オートリターン機構付き3スピード
回転数	33回転/45回転/78回転
駆動方式	ベルトドライブ

### チューナー部

受信周波数	FM:76~108.5MHz
	AM:520~1640KHz
アンテナ	FM/リード線アンテナ AM/内蔵型

### テープレコーダー部

トラック方法	4トラックステレオ 2チャンネル
録音方法	交流バイアス
消去方法	マグネット消去

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

## 廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。  
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないで下さい。

## アフターサービス

### 1.保証書

この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

### 2.修理を依頼される時

- \* 保証期間中は商品に保証書を添えてお買上げ販売店、または弊社までご相談ください。保証書の記載内容により、無料修理致します。
- \* 保証期間が過ぎている時はお買上げの弊社アフターサービス部までご相談ください。

### 3.補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 4.アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、お買上げの販売店が弊社にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●お客様または第三者がCDなどへ記録された内容の損害

●録音・再生およびCDの演奏などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害

# レコード針のご購入を希望される方へ

レコード針のご購入を希望されるお客様は下記の方法で販売させていただきます。

お届け・お支払い

宅配業者・代金引換

(商品が着いたら、宅配ドライバーに代金をお支払い頂く便利なシステムです)

ご注文先

株式会社アピックスインターナショナル

ご注文方法

弊社アフターサービス部まで、ご連絡下さい。

製品のお問い合わせ  
アフターサービス等



0120-350352

営業時間：(平日)月曜日～金曜日

※祝祭日を除く (午前10:00～11:30  
午後1:00～5:00)

教えて頂きたい内容

[本品の品番・お名前・郵便番号・住所・電話番号・希望数量]

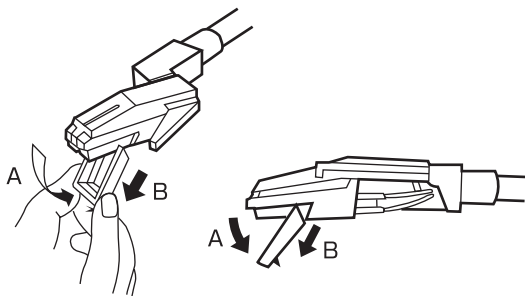
品名 **ATQ-470用レコード針 (1本)**

メーカー希望小売価格 **¥1,050円(税込)**

※別途送料が掛かります。

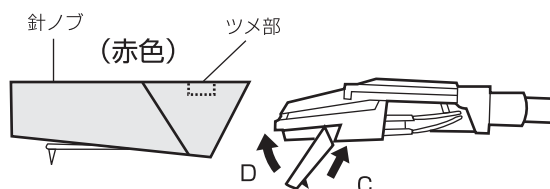
## レコード針の交換方法

### ●はずし方



- [1] 針ノブ(赤色)の先端部を持って矢印Aの方向に引き下げます。
- [2] 次に矢印Bの方向へ引いて、ツメ部を外します。

### ●入れ方



- [1] 針ノブのツメ部をカートリッジのツメ受け穴に合わせてから矢印Cの方向へ差し込みます。
- [2] 針ノブ先端部を矢印Cの方向へ軽く押しつけながら矢印Dの方向へ持ち上げます。パチッと音がするまでしっかりととはめてください。